

〈生徒の実態〉  
 ・「学ぶ力」を身につけさせる支援と、計画的に「自学習」をする手立てが必要。  
 ・個別の学習支援を要する生徒が多い。

〈研究テーマ〉  
 生徒が主体的に学ぶ授業の推進  
 ～単元を見通した授業づくりと評価の工夫を通して～

学校教育目標

人間尊重の教育を基調として  
 知性を磨き 豊かな心と 健康な体をつくる

目指す生徒像

課題解決に必要な知識・技能を習得する生徒

課題を見つけ、解決策を考え、表現できる生徒

課題を持ち、粘り強く主体的に解決できる生徒

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

〈育成を目指す資質・能力〉

※学習の基盤：言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力

●各教科等で主要な概念を深く理解し、他の学習や生活で活用できる力

●課題解決方法を探して、計画を立てる力  
 ●結果を予想し、実行する力  
 ●自分の考えを文章や発話で表現する力

●先を見通し、粘り強く取り組む力  
 ●他者と協力して課題解決しようとする力

〈具体的な取組〉

○基礎・基本、知識・技能の定着  
 →「講義型」「教え込み」から脱却し、生徒主体の授業実践  
 →生徒が身につける力が確認できるテスト改善  
 →Cの手立てを行う

○一人一台端末を、日常的に授業で活用  
 →個別最適化を目指した授業改善  
 →自立した学習者（自ら学ぶ力）の育成

○「問い」を持ち、主体的に学ぶ授業を推進  
 →「単元構想計画」を立てる  
 →「まとめ」に正対した「めあて」の設定  
 →「まとめ」は自分の言葉で表現する力を育成

○意見交換（他者参照）や議論する場面を多く設定  
 →自分の考えを適切に伝える力を育成  
 →話し合い、合意形成できる力を育成

○「総合的な学習の時間」を核に各領域で探究的な学習を展開  
 →キャリア教育の視点（か・ふ・や・み）で毎時間（単元）の授業を実践する

○生徒の自治的活動場面を設定（学活、生徒会）  
 →“楽しい学校”づくりに向けて、生徒一人一人が自分事として考え行動する力を育成  
 →学校の課題を見つけ、解決する力を育成

〈評価指標〉

○全国学調  
 ・児童生徒質問紙 肯定的な回答が7割以上  
 4.2 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。

○全国学調  
 ・児童生徒質問紙 肯定的な回答が7割以上  
 4.0 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

○全国学調  
 ・児童生徒質問紙 肯定的な回答が7割以上  
 1.6 「家で自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）」  
 3.7 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

○全国学調 ・各教科調査 全国平均比±0以上

	全国学調 4月 H31全国差 (県平均差)	到達度調査R2.2 H31 県平均差	全国学調 4月 R3全国差 (県平均差)	到達度調査R3.2 R3 県平均差	全国学調 4月 R4全国差 (県平均差)	到達度調査R5.2 R4 県平均差	全国学調 4月 R5全国差 (県平均差)	到達度調査R6.2 R5 県平均差	全国学調 4月 R6全国差 (県平均差)
国語	-3.8 (+1)	中2 -3.2	-1.6 (+3)	中1 -2.1 中2 -0.8	-5.0 (±0)	中1 -3.7 中2 -6.2	-5.8 (-1)	中1 -1 中2 -0.9	(+0.3)
数学	-9.8 (-3)	中1 +0.3 中2 -8.8	-2.2 (+3)	中1 -1.9 中2 -5.9	-16.4 (-7.0)	中1 -2.0 中2 -2.4	-12 (-3)	中1 -5.8 中2 -6.2	(-4.5)